記 載 例

相 続 税 の 申 告 要 否 検 討 表

やま折り

※用紙を点線に沿ってやま折りし、矢印に従い裏面に転記してください。

1　亡くなられた人の住所、氏名（フリガナ）、生年月日、亡くなられた日を記入してください。

住所	東京都○○区○○5丁目3番1号	氏名	（ コクゼイ タロウ ） 国税 太郎	生年月日	昭和 18年 10月 19日
				亡くなられた日	令和 7年 5月 10日

2　亡くなられた人の職業及びお勤め先の名称を「亡くなる直前」と「それ以前（生前の主な職業）」に分けて具体的に記入してください。

亡くなる直前：　無職　（お勤め先の名称：　ー　）

それ以前（生前の主な職業）：　会社役員　（お勤め先の名称：　○○商事㈱　）

3　相続人は何人いますか。相続人の氏名、住所及び亡くなられた人との続柄を記入してください。

	相続人の氏名	フリガナ	相続人の住所	続　柄
①	国税 花子	コクゼイ ハナコ	東京都○○区○○5丁目3番1号	妻
②	国税 一郎	コクゼイ イチロウ	東京都○○区○○5丁目3番1号	長男
③	税務 幸子	ゼイム サチコ	東京都△△区□□6丁目4番2号	長女
④				
⑤				

（注）　相続を放棄された人がいる場合には、その人も含めて記入してください。

相続人の数　Ⓐ　3　人

4　亡くなられた人や先代の名義の不動産がありましたら、土地、建物を区分して（面積は概算でも結構です。）記入してください。

種　類	所　在　地	イ 面積(㎡)	ロ 路線価等（注1、2）	ハ 倍率（注2）	ニ 評価額の概算（注3）
① 土地	東京都○○区○○5丁目3番1号	150	350,000		5,250 万円
② 土地	△△県△△市△△町161番地	300	12,000,000	1.1	1,320 万円
③ 家屋	東京都○○区○○5丁目3番1号	80	18,300,000	1.0	1,830 万円
④					万円

合計額　Ⓑ　8,400　万円

（注）1　ロ欄は、土地について路線価が定められている地域は路線価を記入し、路線価が定められていない地域は固定資産税評価額を記入してください。また、建物は固定資産税評価額を記入してください。

2　土地に係るロ欄の路線価又はハ欄の倍率は、国税庁ホームページ【https://www.rosenka.nta.go.jp】で確認することができます。なお、路線価図は千円単位で表示されています。

3　ニ欄は、次により算出された金額を記入してください。

《ロ欄に路線価を記入した場合》ロの金額×イの面積(㎡)

《ロ欄に固定資産税評価額を記入した場合》ロの金額×ハの倍率（建物は1.0倍）

なお、「居住用の区分所有財産」（いわゆる分譲マンション）については、別途評価方法がありますので、「相続税のあらまし」をご参照ください。

5　亡くなられた人の株式、公社債、投資信託等がありましたら記入してください（亡くなった日現在の状況について記入してください。）。

銘　柄　等	数量(株,口)	金　額	銘　柄　等	数量(株,口)	金　額
① ○○商事㈱	100	200 万円	④		万円
② ○○建設㈱	20	400 万円	⑤		万円
③ 10年利付国債第○回		100 万円	合計額		Ⓒ 700 万円

6　亡くなられた人の預貯金・現金について記入してください（亡くなった日現在の状況について記入してください。）。

預入先（支店名を含む）	金　額	預入先（支店名を含む）	金　額
① ○○銀行○○支店	1,000 万円	④	万円
② ××銀行××支店	700 万円	（現金）	250 万円
③ △△信託銀行△△支店	350 万円	合計額	Ⓓ 2,300 万円
		(Ⓑから Ⓓ) の合計金額	11,400 万円

やま折り

7　相続人などが受け取られた生命（損害）保険金や死亡退職金について記入してください。

生命保険金等	保険会社等	金　額	死亡退職金	支払会社等	金　額
	①　○○生命保険㈱	イ　2,000　万円		①	ハ　　万円
	②　××生命保険㈱	ロ　1,000　万円		②	ニ　　万円

（注）　生命（損害）保険金や死亡退職金は一定額が非課税となりますので、次により計算します。※赤字のときはゼロ

生命保険金等：（イ＋ロの金額　3,000　万円）－（表面Ⓐの人数　3　人×500万円）＝ホ　1,500　万円

死亡退職金　：（ハ＋ニの金額＿＿＿万円）－（表面Ⓐの人数＿＿人×500万円）＝ヘ＿＿＿＿万円

ホ＋ヘの金額　Ⓔ　1,500　万円

8　亡くなられた人の財産で、上記４から７以外の財産（家庭用財産、自動車、貸付金、書画・骨とうなど）について記入してください。

財産の種類	数量等	金　額	財産の種類	数量等	金　額
①　貸付金	○○商事㈱	500　万円	③		万円
②　金地金	500ｇ	300　万円		合計額	Ⓕ　800　万円

9　亡くなられた人から相続時精算課税を適用した財産の贈与を受けた人がいる場合、その財産について記入してください。

贈与を受けた人の氏名	財産の種類	金　額	贈与を受けた人の氏名	財産の種類	金　額
①　国税　一郎	現金	1,000　万円	③		万円
②		万円		合計額	Ⓖ　1,000　万円

10　亡くなられた人から亡くなる前３年以内に、上記９以外の財産の贈与を受けた人がいる場合、その財産について記入してください。

贈与を受けた人の氏名	財産の種類	金　額	贈与を受けた人の氏名	財産の種類	金　額
①　税務　幸子	現金	100　万円	③		万円
②		万円		合計額	Ⓗ　100　万円

11　亡くなられた人から「教育資金」又は「結婚・子育て資金」の一括贈与の非課税の適用を受けた人がいる場合、管理残額を記入してください。

贈与を受けた人の氏名	資金の種類	管理残額	贈与を受けた人の氏名	資金の種類	管理残額
①　税務　幸子	教育資金	200　万円	③		万円
②		万円		合計額	Ⓘ　200　万円

12　亡くなられた人の借入金や未納となっている税金などの債務について記入してください。また、葬式費用について記入してください。

借入先など債権者の住所・所在と氏名・名称	金　額		金　額
①　令和6年度分固定資産税、住民税	35　万円	③　葬式費用の概算	265　万円
②　○○銀行○○支店	1,500　万円	合計額	Ⓙ　1,800　万円

13　相続税の申告書の提出が必要かどうかについて検討します。（概算によるものですので、詳細については税務署にお尋ねください。）

Ⓟの金額　《黒字である場合》相続税の**申告が必要**です。

《赤字である場合》相続税の**申告は不要**です。

※　あくまでも概算による結果ですので、Ⓝの金額とⓄの金額の差が小さい場合には、申告の要否について更に検討する必要があります。

※　国税庁ホームページ【https://www.nta.go.jp】には、相続税に関する具体的な計算方法や申告の手続などの詳しい情報を記載した「相続税の申告のしかた」を掲載しておりますのでご利用ください。

(表面ⒷからⒹ)の合計金額	Ⓚ　11,400　万円
(ⒺからⒼ)の合計金額	Ⓛ　3,300　万円
(Ⓚ ＋ Ⓛ － Ⓙ)の金額 ※赤字のときはゼロ	Ⓜ　12,900　万円
Ⓜ＋Ⓗ＋Ⓘ	Ⓝ　13,200　万円
基礎控除額の計算 3,000万円 ＋(表面Ⓐ　3　人×600万円) ＝	Ⓞ　4,800　万円
(Ⓝ － Ⓞ)の金額	Ⓟ　8,400　万円

令和　●　年　●　月　●　日

住　所　東京都○○区○○5丁目3番1号

氏　名　国税　花子

日中連絡可能な電話番号　××－××××－××××

作成税理士の氏名、事務所所在地、電話番号

東京都○○区○○1丁目3番5号

税理士法人○○会計　（電話）××－××××－××××

税理士　築地　三郎

（※）　相続税の申告が不要な場合には、この「相続税の申告要否検討表」を提出してください。

【注意】「相続税の申告要否検討表」は、相続税の申告書ではありません。